《勝　敗》

1．一本勝ち、判定勝ち、相手選手の失格・棄権による勝ちにより決定される。

《1 本勝ち》

1．反則箇所を除き、突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手を３秒以上ダウンさせるか戦意を喪失させた場合は一本勝ちとする。

2．技あり２本で合わせ一本勝ちとなる。

《技あり》

1．反則箇所を除いて突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し、3 秒以内に立ち上がった場合。

2．足掛け技を含めてダウンさせた相手を下段突きで（当てない）決めた場合はタイミングその他によって技ありとすることもありうる。

《判　定・延長戦》

1．一本勝ち・失格がない場合は主審・副審の内、過半数の審判の判定で決める。判定で勝敗が決まらない場合は引き分けとし、延長戦を行う。

2．延長戦で決着がつかない場合は規定の体重差により軽い方を勝者とする。

3．体重差でも決着がつかない場合は最終延長戦にて勝者を決定する。

《反　則》

1．次の場合は反則とする。

(a)　手技による首から上への攻撃。

(b)　金的蹴り・頭突き。

(c)　倒れている相手に当てる攻撃。

(d)　背後からの攻撃。

(e)　掌底押し・正拳押し・つかみ・投げ・手掛け・かかえ・頭・胸を合わす状態。

(f)　技の掛け逃げ。（蹴ってすぐに倒れることを繰り返す）

(g)　何度も場外へ逃げた場合。

(h)　正面からの膝関節への蹴り。

(i)　その他、審判が特に反則とみなした場合。

2．反則は悪質なものを除き注意が与えられる。悪質な反則の場合失格もありうる。

《減　点》

1．次の場合は減点１とする。

(a)　注意を２回与えられた場合。

(b)　悪質な反則を行った場合。

(c)　審判の判断により、悪質な試合態度とみなされた場合。

(d)　減点２で失格となる。

《失　格》

1．次の場合は失格とする。

(a)　減点２となった場合。

(b)　試合中審判員の指示に従わない場合。

(c)　出場時刻に遅刻したり、出場しない場合。

(d)　粗暴な振る舞いや悪質な試合態度とみなされた場合。

(e)　応援態度が悪質で目にあまる時は選手の失格もありうる。